

転倒災害防止対策に 取り組んでまっ堺運動

転倒災害の種類は
大きく分けて右の

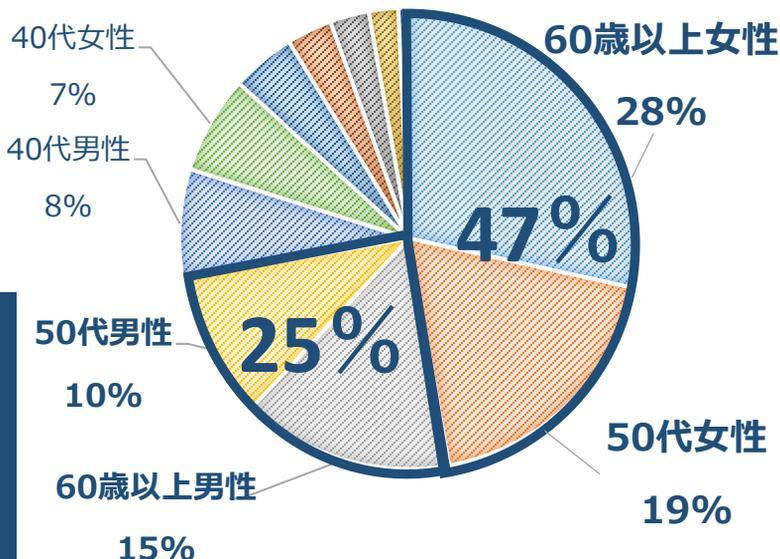
3種類!!

皆さまの職場にも
似たような危険は
ありませんか？

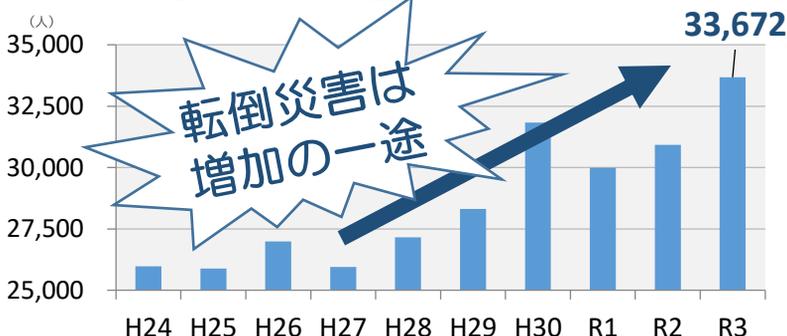


転倒災害を 男女別・年齢別 でみると

50代以上で
全体の72%
を占めています。



転倒災害発生件数の推移



転倒による怪我の態様

・骨折（約70%）

転倒災害による
平均休業日数 47日

原因と対策は裏面へ ➡

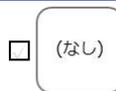


厚生労働省 大阪労働局・堺労働基準監督署

<http://osaka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp>

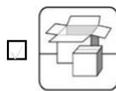
2024.12

「つまずき」等による転倒災害の原因と対策



何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒 (27%)

➤転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入 (★)



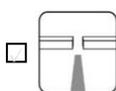
作業場・通路に放置された物につまずいて転倒 (16%)

➤バックヤード等も含めた整理、整頓 (物を置く場所の指定) の徹底



通路等の凹凸につまずいて転倒 (10%)

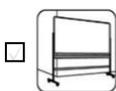
➤敷地内 (特に従業員用通路) の凹凸、陥没穴等 (ごくわずかなものでも危険) を確認し、解消



作業場や通路以外の障害物 (車止め等) につまずいて転倒 (8%)

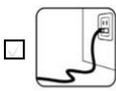
➤適切な通路の設定

➤敷地内駐車場の車止めの「見える化」



作業場や通路の設備、什器、家具に足を引っかけて転倒 (8%)

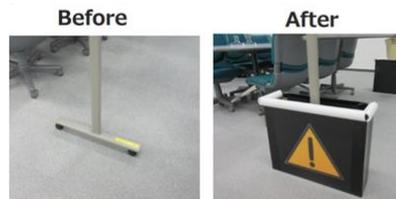
➤設備、什器等の角の「見える化」



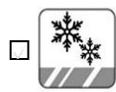
作業場や通路のコードなどにつまずいて転倒 (7%)

※引き回した労働者が自らつまずくケースも多い

➤転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に遵守を徹底させる

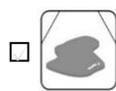


「滑り」による転倒災害の原因と対策



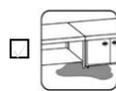
凍結した通路等で滑って転倒 (25%)

➤従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マット等を設置する (★)



作業場や通路にこぼれていた水、洗剤、油等により滑って転倒 (19%)

➤水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。
(清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してからの開放の徹底)



水場 (食品加工場等) で滑って転倒 (16%)

➤滑りにくい履き物の使用 (労働安全衛生規則第558条)

➤防滑床材・防滑グレーチング等の導入、摩耗している場合は再施工 (★)

➤隣接エリアまで濡れないよう処置



雨で濡れた通路等で滑って転倒 (15%)

➤雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う